

人と水の物語

もうひとつの文化遺産、
東海道五十六次「枚方宿」。

むかしの面影を今に
伝える京街道の宿場町。

最近の学術研究によって、江戸幕府の道中奉行所御勘定が、東海道は品川宿より守口宿と明言したことが分かり、枚方は東海道の五十六番目の宿場町として注目を集めはじめた。京都方面から鶴橋をわたって天野川を越え、ほとんどなく宿場町の入口だった岡新町。現在も京阪、枚方市駅の駅前を南へ歩くと、やがて古い商家が現れ、常夜灯や本陣跡など、宿場町の名残をとどめる歴史の散歩道が広がります。



今は歴史街道として保存されている旧街道。



ふるさと枚方の豊かな歴史を次代に。
「天の川七夕星まつりの会」

今や枚方市民にとって夏の恒例行事となった「七夕星まつり」。このビッグイベントの仕掛人であり、枚方・交野の七夕伝説を次代に伝える活動を展開している、天の川七夕星まつりの会の事務局長下間玲子さんにお話をうかがいました。



事務局長
下間玲子さん

この会は、当地が日本における七夕伝説発祥の地であり、かすかすの文化遺産をもつ街であることをひとりでも多くの方に知ってもらおうと平成2年からスタートしました。交野・原の歴史や文化に関する講演会や七夕伝説にゆかりの深い伝承地をめぐる「ロマンウォーク」などを実施。そして、メインの行事となるのが、例年7月に開催している、天の川七夕星まつりです。七夕盆踊り大会やパフォーマンス大会をはじめ、多彩な催しを通して、市民の方々のふれあいの場を創ろうとしています。とくに、岡東中央公園一帯の笹飾りは市内16の全公立幼稚園と私立の幼稚園・保育園の園児たちが参加するビッグイベントとなっています。毎年、この催しを楽しみにしている子供たちにより豊かなふるさとを残すことが、私たちの会の最大の目標ですね。



「天の川七夕星まつりの会」に関するお問い合わせは、事務局 / TEL.0720-48-3591

